



姉妹都市の提携書を持つ両市の市長

### 岐阜県中津川市と姉妹都市縁組を締結 「ヒトツバタゴ」を縁に今後も友好親善を

「ヒトツバタゴ」の自生地（国指定の天然記念物）を縁に、対馬市と岐阜県中津川市はこのほど姉妹都市縁組を締結しました。

平成8年に旧上対馬町と旧蛭川村が姉妹町縁組を結び、お互いのイベントへの参加や小学生の相互交流などを行ってきましたが、合併によりお互いが市になったことを受け、あらためて姉妹都市として提携し、今後もなお一層の交流と親善を図ることを目的としたものです。

締結式は11月3日、蛭川地区のひとつばたご広場で開催された地元のイベント「ひるかわMAIKA祭2007」に合わせて行われ、両市長が姉妹都市縁組の提携書に署名し、固い握手を交わしました。

### 官・産・学の国際交流協定を締結

対馬市・大亜高速海運・釜山外国語大学校

対馬市は、韓国の大亜高速海運と釜山外国語大学校の3者による国際交流協定を締結しました。国境と官・産・学の枠を超えて国際化、地方化の時代に沿った地域社会の相互発展を目的とするものです。

対馬と釜山間で定期旅客船を運行している大亜高速海運と釜山外国語大学校は、対馬での海岸清掃（環境美化交流）を平成15年から協力して行うなど対馬市との交流を続けており、平成15年7月には旧上県町との間で同様の協定が結ばれていました。

調印式は、11月12日に釜山外国語大学校で行われ、対馬市長をはじめ各団体の代表者が協定書に調印し、今後のさらなる交流発展と協力を誓いました。



協定書を手にする各団体の代表者



宣言書を手にする対馬高校の辰田幸敏校長（左）と釜山情報観光高校のソン ヒョイク校長

### 対馬高校が釜山情報観光高校と姉妹校に 交流を進め、日韓両国の親善へ

対馬高校と韓国の釜山情報観光高校が姉妹校縁組を結ぶことになり、11月3日、対馬高校体育館で結縁式が行われました。

釜山情報観光高校は1972年に創立され、ホテル経営科、同調理科、同情報科の3学科を持つ生徒数984名の私立高校です。対馬高校は平成16年度から修学旅行での交流会や、韓国の言葉や文化について学ぶ国際文化交流コースの研修を通して釜山情報観光高校と交流を重ねてきました。

対馬高校の文化祭「桐鳳祭」に先立って行われた結縁式では、対馬高校の生徒や保護者が見守る中、両校の校長が「両校は深い理解と緊密な協力の上に立ち、友好を深め、

相互の友情と敬愛の精神のもとで交流を進め、日韓両国の親善に寄与する」と記された宣言書に調印し、固い握手を交わしました。

江戸中期の儒学者でイノシシ退治で有名な陶山訥庵先生の生誕350周年を祝い、その偉業について学ぶ「対馬聖人 陶山訥庵先生 生誕350年祭」が、11月10日、対馬市交流センターで開催されました。市民有志が立ち上げた同祭実行委員会（上原正行委員長）が主催したものです。

会場では厳原小、久田小、厳原中学校の児童生徒による研究発表のほか、県立対馬歴史民俗資料館の大森公善館長による基調報告、東京大学大学院農学生命科学研究科の林良博教授による特別講演「人と野生動物 いか<sup>あつれき</sup>に軋轢を克服するか」に加え「陶山訥庵先生に学ぶ」をテーマにシンポジウムが開かれました。会場には多くの市民が訪れ、訥庵先生の偉大な功績を偲びました。

## 偉大な先人の功績を偲ぶ

対馬聖人 陶山訥庵先生 生誕350年祭



シンポジウムの様子

## 住みよい街づくりを目指し「地域福祉計画」 地区座談会を開催



厳原地区座談会の様子(対馬市交流センターで)

対馬市では、市民の皆さんが住み慣れた対馬で安心して快適に暮らせるように、福祉サービスの充実や、市民が進んで参加できる地域活動を進めることを目的に、地域福祉計画を策定しています。

策定にあたっては市民協働で行い、これまでアンケート調査、各団体へのヒアリング調査に加え、10月中には市内6地区で2回ずつ地区座談会を開催し、参加した延べ343人の市民から直接意見を伺いました。

来年2月には計画案を作成し、内容をホームページ等で公開のうえ、市民の皆さんからの意見を募ったのち、3月末には計画が策定されます。

10月26日、長崎県戦没者慰霊奉賛会对馬市支部の主催による平成19年度対馬市戦没者追悼式が、豊玉総合運動公園体育館で開催されました。式典には島内の遺族や来賓など約400名が参列し、祖国の繁栄と家族の幸せを願って尊い命を捧げた対馬市関係1400余名の英霊を偲び、めい福を祈りました。

戦後62年が経過し、参列者の高齢化が進むと同時に、戦争の記憶も年を追うごとに風化しつつあります。

式典の中で、長崎県連合遺族会の庄司實会長は「今、国民が平和で豊かな生活を享受しているのは、戦没者の尊い犠牲の上に築かれたものであることを私たちは決して忘れてはならない。ご英霊が願われた我が国の平和と自由を守りとおし、進んで世界平和のために尽くすことを誓います」と遺族を代表して追悼のことばを述べました。

## 1400余名の戦没者の冥福を祈る

対馬市戦没者追悼式



祭壇へ菊の花を手向ける遺族の皆さん